

大念佛

No.97

発行/融通念佛宗
総本山 大念佛寺大阪市平野区平野上町1-7-26
TEL.06-6791-0026このQRコードで
大念佛寺にアクセスできます。大念佛寺 で「検索」
<https://www.dainenbutsuji.com/>

題字：融通念佛宗 管長 吉村暉英

お盆によせて

今年もお盆が近づいてまいりました。商店には、お盆のお供物などが並ぶようになります。各お寺では施餓鬼やお盆供養が始まり、各地では、盆踊り、万燈会、送り火、地藏盆など地域により様々な行事も執り行われます。各家庭でご先祖をお迎えし、

ご先祖にお腹いっぱいになっていただくよう、様々なものをお供えいたします。早く帰って来られるようにと、キュウリなどで作った足の速い馬をお供えしたり、ゆっくりして帰ってくださいと、ナスなどで作った牛をお供えしたりします。おかえり

なったご先祖が食事をいただきやすいようにと、お供物棚に梯子をかけたります。また、縁側や庭先にも供養棚をもうけ、そこにもお供え物をし、諸々の迷える諸霊（三界万霊）を供養します。

The treasure of Osaka will become the treasure of Japan.

令和5年夏 大念佛寺はクラウドファンディングに挑戦します

クラウドファンディング
目標金額
1,000万円

大阪の宝を、日本の宝に。
本堂大改修へご支援を。



【公開期間】
2023年8月21日(月)～10月16日(月)
大念佛寺 レディーフォー



大念佛寺で幸せのお念仏を共鳴させる本堂が再建後八十六年を迎えて大改修を行うこととなりました。あなた様の手によって大成功に導き、皆様の融和の心によって重要文化財登録の道のりに明かりを灯していただきますようお願いいたします。

は近年、少しずつ、じわじわと減ってきている様に思われます。コロナの影響でさらに拍車がかかった様に思います。お盆などの供養はご先祖に感謝や供物を捧げるだけでなく、お供養をする側の我々の心の供養にもなっています。大人のお供養する様を見たり、そのお手伝いをしたりすることも達が、先人への感謝、家族のきずな、思いやりなど優しい気持ちを学ぶ良い機会になります。ご近所、友人関係、学校、職場、人間だけでなく、他の生き物への接し方、物の取り扱い方など、良い影響を及ぼします。



今一度ご家庭でのお盆のあり方を見直していただき、背伸びせず自分のできる範囲でこの様な機会をより多く設けていただけたら幸いです。

本堂大改修

起工式



起工式は工事着工の際に行われ、無事に着工できることを喜び、工事の安全と順調な進捗を祈願する式です。

工匠とは今でいう大工の事です。宮大工の伝統儀式で事業の無事を願う儀式が工匠式です。

本堂で管長猥下の導師のもと起工式が行われその後、本堂の縁側正面にて工匠

式が行われました。この度の起工式は、設計監理者である有限会社 伊藤平左エ門建築事務所名古屋事務所の望月所長を検知役として、施工

者である株式会社金剛組の専属宮大工の各棟梁と技術者を工匠役として執り行われました。

通常の改修工事では工匠式は行いませんが今回は八十年ぶりの令和の大改修工事であることから特別に実施しました。

宮大工の伝統技術を継承する貴重な機会として改修に臨んでいます。



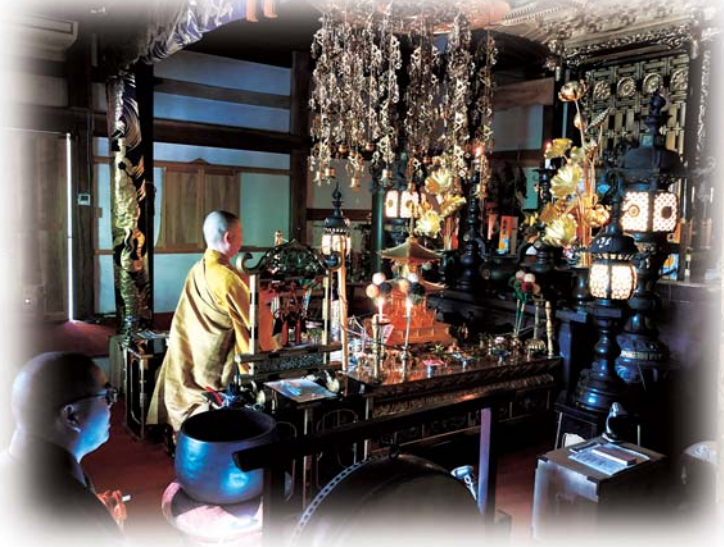
融通念仏ゆかりの社寺

神峯山寺

神峯山寺は、大阪府高槻市にある天台宗の寺院で、山号は根本山といひます。本尊は毘沙門天、兜跋毘沙門天、双身毘沙門天の三体で、日本で最初に毘沙門天が安置された霊場といわれています。本堂には新西国三十三箇所第十四番札所本尊の聖観音も祀られており、紅葉の名所として知られています。境内は大阪府立北摂自然公園に属し、大阪みどりの百選に選定されています。

寺の伝承『神峯山寺秘密縁起』

によると、文武天皇元年（六九七）に役小角が葛城山で修行をしていた時、北方の山から黄金の光が降ってきたところ、水神金比羅童子と出会いました。童子は役小角に伽藍を建立するよう告げ、その際に使った霊木で四体の毘沙門天を刻みました。そのうちの一体はこの地に留まり、残り三体の毘沙門天は天高く飛散し、一体はかつて神



峯山寺奥之院であった北山本山寺に、一体は京都の鞍馬寺に、一体は奈良県の朝護孫子寺に安置されたと伝わっています。

宝亀五年（七七四）に、光仁天皇の子息である開成皇子が、勝尾寺（大阪箕面市）から入山し、光仁天皇の命によって本堂を建立して住職となりました。これを機に神峯山寺は天台宗寺院となり、平安時代後

期に、天台宗僧侶であった良忍が開宗した融通念佛宗の源流が大原、鞍馬を通り神峯山寺へ伝わったとされ、『神峯山寺秘密縁起』四巻の冒頭にはその説話が残されています。

大治元年（一一二六）の頃、摂津国に橘輔元という役人がおり、極めて裕福であったが七度の火災で家財がすべて失われ、輔元の父子にわたる三代にわたって癩の病にかかるといふ苦しみを受けていました。輔元は奥之院の毘沙門天の宝前でこの苦しみを救われるよう深く祈禱し、九頭龍滝に打たれるなど苦行を行ったとされています。そして輔元とその子息は、後に良恵、忍恵と名乗り、良忍の弟子となり神峯山寺の住職を継いだといわれています。

神峯山寺は毘沙門信仰や山岳信仰が色濃く残る場所であり、神峯山寺は天台山寺は龍のご神体として信仰され、



神仏混淆の寺院として天台宗寺院とは異なる側面を持っています。現在も修験道を志す修験者が寺領で修行をする光景が見られます。

また、平安時代末期に融通念佛宗の源流が神峯山寺で伝播したことから、神峯山寺周辺は阿弥陀信仰が根付いた地域で、「病氣平癒」などのご利益があるとされる阿弥陀如来（重要文化財）は現在も本堂に安置されており、融通念佛宗とも独自の交流があります。

なにわ七幸会40周年記念事業

7つのご利益 授かる！ (全4回)

参加特典！
①7社寺で参拝とご案内
歴史や境内案内を特別に
いただけます。
②7社寺より参加費減額
記念品授与

大阪探訪ウォーキング

健康ウォーキング

七幸巡拝ウォーキング 参加者募集

大原天満宮 大念修寺 住吉大社 今宮戎神社 太融寺 四條神社 四天王寺
学業成就 諸事上達 厄除祈願 高貴繁盛 無病息災 心願成就 家内安全

日程 コース詳細は裏面参照

①令和5年9月2日(土) 約100km
四條神社コース

②令和5年9月18日(月・祝) 約100km
大念修寺・大原天満宮コース

③令和5年10月8日(日) 約8.0km
住吉大社・今宮戎神社コース

④令和5年11月19日(日) 約8.0km
太融寺・四天王寺コース

受付時間 9時30分～ 各回10時スタート→16時半頃 解散予定

主催 なにわ七幸事務局 大阪市天王寺区四天王寺1-11-18 電話 06-6771-0066

詳しくは <https://naniwa7.net/> 参照

ご参加について

参加費用：全4回ご参加 5,100円 ※当日実費 (コースマップ、保険料、7社寺からの記念品含む)

1 専用集印帳 1,000円
・7社寺のご朱印代 300円 (合計2,300円)
※各個人の参拝日程の都合はできません。なにわ七幸会事務局の案内に従ってください。

2 事前申込必要 全4回で参加できる方のみ 当日受付は定員50名
必ず事前申込を「なにわ七幸事務局」にお申し込みください。

定員 50名

夏安居

融通念佛宗では毎年、春（三月下旬）又は夏（七月下旬）に僧侶になるための修行（夏安居）が行われます。

安居とは僧侶が外出せず、一ヶ所に籠って修行することを意味し、梵語（サンクリット）の「ヴァルシヤ」、パーリ語の「ヴァッサ」を漢語に訳した雨期を意味する言葉でもあります。安居を雨期のある夏に行うことから後に夏安居、雨安居と云われるようになります。雨期には草木が生い茂り、昆虫など数多くの小動物が活動する為、遊行（外



での修行）を止めて一ヶ所に定住することにより、小動物に対する無用な殺生を防ぐことが本来の目的です。



ら就寝の時間まで様々な僧侶としての教養を身に付けます。四回受けることを定められている夏安居を終えると次により深い内容となる冬の修行（加行）を受け、さらには勧学林（融通念佛宗における学問機関）に入学し、本宗の一人前の僧侶に向けての階段を昇ります。

夏安居の日程、内容等は宗派によつて異なりますが本宗においては総本山大念佛寺に一週間泊まり込み、本堂での一日三度のお勤め（晨朝半斎勤行、日中勤行、夕時勤行）を行います。その合間の時間には融通念佛宗の歴史、教義、作法を学ぶ講義、講習を受けます。食事の時には自然の恵みに感謝する偈文（げもん）を唱え、食時作法を守りながら頂きます。このように早朝から

東京布教の報告

令和三年十一月七日より始まった東京布教は、法要の要素を取り入れながら、融通念佛宗「法要と布教のつどい」と題して、去る六月二十日（火）薬師寺東京別院において、第四回目も実施することが出来ました。これまで三回の実施日はすべて日曜日でしたので、今回の平日実施は、参詣者の集まり具合に少しは影響があるかと懸念もされましたが、新しく初めての参詣を得るなど、ほぼ前回なみの道場状況の下法要を修める事ができました。

挨拶と法要導師は田中瑞修宗務総長、式衆に教学部長、庶務部長、役僧に法務職員が前半の法要部門（御本尊ご開帳、勤行、結縁回向、先祖回向、お頂戴）を担いました。そして後半の法話布教は融通念佛宗布教師沢田善秀師にその任務を取っていただきました。午後二時から法要と法話それぞれはほぼ一時間ずつで丁度四時に法要全体を終えました。



道場入口になる三階のロビーフロアーをお借りし、参詣の受付、物品の販売、道場の進行政管理等本山職員と有志ボランティアの方の援助を得て、円滑に実施することができました。

参詣者の声としては、「御本尊お掛け」を念仏を唱える中で儀式的に行うことへのあらためての気づきと関心を示されたこと、さら

に御本尊をゆっくり拝見させていただく時間があれば、といったことがありました。この東京布教は令和元年から計画し、融通念佛宗各末寺ご住職より関東在住の信者檀家の推薦をいただいていたのを予定していました。しかし、コロナ感染予防対策のものと約三年スタートが遅れてしまい、その間における信者檀家さんの気構えや居住状況の変化などもあって、改めての呼びかけが求められているのではないかと思います。今回の参詣者の方々の願いや希望、そしてまた新たな課題もふまえ、今後の進展あるいは発展に期したいと考えます。

万部法要報告

今年の万部法要は本堂大改修のため法要は瑞祥閣で厳修されました。一番の催しである菩薩おねりを行うことができなかったのが残念でしたが、それぞれのイベントは延喜殿三階の大ホールで行われました。今年は菩薩おねりの裏話などを紹介する「深掘り！まんぶおねり」というイベントを実施し菩薩のお面や持物の展示なども行いました。



「屋台やマルシェが賑わっていた」といった嬉しいお声も聞くことができました。

また境内では従来の屋台のほかに、ネイルアート、占い、手作り品の販売などいわゆるマルシェのお店も出店してもらいました。菩薩おねりがなかったため例年より参拝の方も少ないように感じましたが、「イベントもよかった」、「声明コンサートに心が洗われた」、



末寺巡礼

東光山 隆興寺

隆興寺は、奈良市南部、帯解の今市に在します。江戸時代、浄開の建立と伝われます。もとは興福寺の門末であり、延宝八年（一六八〇）の頃、願智西上人（元禄八年寂）に至るのちは寺庵となりました。ご本尊は薬師如来。今の本堂の位置は、もと大師堂であり、弘法大師と薬師如来をともにまつりしていました。この地の近くの「広大寺池」において、むかし暴れる龍がおり弘法大師がお治めになったという伝説が伝わっており、この辺り一帯は、弘法大師の霊場であったと伝わっています。また、この地域は、興福寺の領地でもあったため、隆興寺に隣接して、春日明神をおまつりするお社があります。



隆耀山勝本院 光明寺

光明寺は、奈良市南部の帯解の田中に在します。山号は隆耀山。光明寺は田中を本拠地としていた窪之庄一族により戦国時代以前から大切にされてきました。戦国の時代に窪之

庄氏が減ってから没落し、元禄十四年（一七〇一）の田中村大火によりそれまでの過去帳なども燃えてしまい、創建の詳しい年代等は不明です。

奈良市の徳融寺の末寺の時代もあったという事です。無住の時代が長く、近年になり、初代の住職が着任されました（昭和四十二年寂）。その後、平成の時代に本堂を再建し、平成十三年に落慶されました。

ご本尊は阿彌陀如来坐像。両側には、観音菩薩、地藏菩薩も安置されています。また、弘法大師もおまつりしています。



元禄の火災から復興に当たり、山村の里から石段を上がったところにある門跡尼寺圓照寺の尼宮様が村民を哀れに思われて庵室を下賜され本堂を再建させ、庵室の古材など様々なご支援を頂き、また木造地藏菩薩立像をご寄進されたと伝わります。

その後、大正の時代には、圓照寺門跡文秀尼王がお参りにおいでになり、その際に頂いたという六字名号の掛け軸が残っています。おむね毎月十七日に観音講を行っています。ほか、二月には、江戸時代のもので伝わる涅槃図をおかけして、涅槃会の法要をおこなっています。四月は大師講として、弘法大師の法要を行っています。七月に地藏盆を行い、その他に、彼岸会、十夜会などを行います。いずれも、尼講十五人ほど、世話人いれて二十人ほどが、いらっしゃるそうです。お経をあげ、その後、布教のお話しをなします。

観音講は、以前は掛け軸、数珠をもって、各お家をまわって、お経、御詠歌をあげ、数珠くりなどを行っていたようですが、時代の変化にともない、お寺で集まって行うようになったようです。現代も、依頼があれば、まわっているそうです。



不思議な夏：祈りと語り心奪われるひととき

幽霊博物館

亡女の片袖 幽霊画とともに
大念佛寺所蔵
『九相詩絵巻』特別展示！
人気アニメにも取り上げられた

2023年
8月25日(金)~27日(日)

場所 大念佛寺延喜殿1F
入場料 大人800円 小人400円
キッチンカーもやります！

特別公演
幽霊寄席開催
●講談師による人情講談
●かたりべが伝える片袖と絵巻に込められた思い

※イベント来場者が多数の場合は入場制限を致しますのでご注意ください。※イベントの内容は予告なく変更になる場合がございます。

大念佛 TERA's
おとも子どもも
うれしたのし祭り
同時開催！

小 径

数年前から名前をよく聞くようになったスイーツ、マリトッツォ。その前には、ティラミスが流行り、ナタデココが流行り、タピオカが流行っていました。

私は流行に乗るのが早い方ではないので、噂で聞きながら、手に取るまでに、ずいぶん時間がかかりました。

そうしておきながら、初めて頂いたときには、「なんて美味しいんだ！もっと早くから食べておけば良かった」などと思うのです。そう思うころには、もう流行のど真ん中を過ぎていたりします。連日テレビで特集されていた状況も変わってしまったかもしれません。

流行にこだわらなくても、「美味しい食べ物というのは、流行に関係なく、

このQRコードでアクセスできます。

DAINENBUTSUJI.1117

フォローしてね

年中行事ご案内

- 孟蘭盆・法界大施餓鬼(瑞祥園)
○八月十六日(水) ■午後六時
- 万灯会(境内)
○八月十六日(水) ■午後七時
- 大和御回在御出光(瑞祥園)
○九月三日(日) ■午前七時
- 融通念仏会(瑞祥園)
○九月十六日(土) ■午前十一時
ご一緒にお念仏を称えましよう。
- 百万遍会(大数珠繰り)(瑞祥園)
■午後一時
数珠繰りの後、法主猊下の身体堅固のお加持が参詣者一人一人に授けられます。
その後御札授与があります。
- 亀鉦まつり(瑞祥園)
○十月十五日(日) ■午前十時
本山に伝わる亀鉦をお祀りする法要の後、融通教会会員による詠讃歌舞奉納、「亀鉦由来和讃」等を詠唱します。
- 十夜会(瑞祥園)
○十一月十四日(火) ■午後一時
仮本堂に於いて布教、詠讃歌舞奉納等があります。

後小松天皇忌(霊明殿)

○十二月一日(金) ■午前十一時

大和御回在御帰院(瑞祥園)

○十二月十七日(日)

除夜法要(瑞祥園)

○十二月三十一日(日) ■午後十二時

定例布教(延喜殿三階)

○毎月二十六日 ■午後二時三十分
(日曜日の場合は翌日になります)

行事予定は変更する場合があります。

★写経のご案内

毎月十五日、午前九時三十分より午後三時まで、延喜殿三階にて写経(一巻千円)を行っております。

●お問い合わせ

大念佛寺宗務所
☎〇六-六七九-〇〇二六

融通念仏宗 総本山 大念佛寺

法主	吉村 暲英
管長	田中 瑞修
宗務総長	吉井 良久
教学部長	好野 良博
庶務部長	佐々木智祥
財務部長	

話せば心も軽くなる

大阪仏教テレホン相談室
仏事相談、信仰相談、その他あらゆる人生相談を十宗派の僧侶がお受けします。

月曜日・金曜日(八月休)

でんわ 〇六(六二四五)五一一〇 午後二時~五時迄